

# 穂学



令和4年度

広州日本人学校 学校便り

[No.8]

令和4年7月26日(火)

発行責任者 校長 加藤康德

## 1学期が今週で終了します。

令和4年度の1学期が今週で終了となります。今年の4月は広州市において約2週間の休校措置が取られ、しばらくはWeb上での学習となりました。保護者の皆様には教科書の受け取りの為に来校して頂いたり、家で授業を行うために個人のタブレットやスマホを使用して頂いたりと様々なご協力をお願いしました。その結果、どうにか2週間の自宅学習を進めることができました。また、7月の音楽発表会保護者鑑賞会は広州市内において新型コロナ陽性者が発見されたことを受け、急遽ロイロノートでの動画配信に変更し対応させていただきました。

昨年度は新型コロナウイルスでも重症化の可能性が高い「デルタ株」、今年度は潜伏期間が短く、重症化の可能性が低い「オミクロン株」と、同じ新型コロナウイルスでもその対応が異なるウイルスですが、今年度も昨年に引き続き保護者の皆様、市行政府、学校という3者の連携により、何とか1学期は乗り切ることができたと考えています。

夏休みは中国国内においても旅行シーズンとなります。ウイルスは単体で移動することはありません。人が移動することにより感染が広がります。よって、この夏休みの感染拡大状況が少し気になる場所ですが、2学期は何事もなくスタートできるように願っています。

9月には中学部においての宿泊学習、修学旅行が実施されます。また、10月には運動会と大きな行事が続きます。2学期も一步一步確実に教育計画を推進していきたいです。保護者の皆様のご協力をよろしく願いいたします。

## 「本校の2学期の課題です。」

先日、本校の学力向上部を中心として1学期の授業規律の定着達成率を調査したところ、「次の時間の学習準備」「3分前着席」「指名された時の返事」「大きな声での発表」「音読の仕方」「授業中の姿勢」の6項目において、「定着率が低い」という結果が明確になりました。(昨年度の3学期は定着していた)大きな原因は、「4月の臨時休校で学級開きのスタートが遅れたこと、隔離により教員の着任が遅れたこと、年度ごとに児童生徒数、教員のおよそ3分の1が入れ替わること」などが考えられます。

2学期はスタート時より全教職員が共通して組織的に改善に取り組むことになっております。学習規律の定着を図ることを通して、学力向上へつなげていきます。



「PTA夏まつりが予定通り開催されました。」7月23日（土）



＜学校経営のスローガン＞  
「つながり」を「未来に実感」させる  
広州日本人学校の創造

＜大切にしている5つのつながり＞

- ①先生とのつながり
- ②授業とのつながり
- ③友だちとのつながり
- ④保護者・日本人社会とのつながり
- ⑤中国とのつながり

④



＜景品の仕分け作業＞



＜恒例となっている〇×クイズ＞



＜ラッキードロー＞



＜景品を両手に抱えての下校＞

例年、PTAの大きな行事として開催されている「PTA夏まつり」が予定通りに開催することができました。直前まで新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては、延期も考えられましたが、このように無事に開催することができて本当に良かったです。

広州日本商工会をはじめ、多くの団体の皆様から景品のご寄付を頂きました。ありがとうございました。

また、この会を計画、運営をしていただいた、PTA役員、クラス役員、おやじの会の皆様にお礼を申し上げます。

その後の反省会でも申し上げましたが、PTA活動は全くのボランティアで行われております。もし報酬があるとしたら、それは子ども達の笑顔でしかあり得ません。もしそうであれば、帰りの子ども達の様子を見ると、予想以上の報酬が得られたのではないのでしょうか。本当に感謝いたしております。ありがとうございました。また、来年もよろしく願いいたします。来年は以前のように保護者様や関係者の皆様も交えた「PTA夏まつり」ができることを願っています。



○子ども達の感想（下校時に数人の児童生徒に聞きました。）

- ・「楽しかったです。たくさんもらえて（景品）うれしかった。」
- ・「先生方の歌が良かった。（校長先生も頑張ってた。）」
- ・「ラッキードローは毎年楽しみにしている。今年も欲しいものが当たったので良かった。」